

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

【2017年3月11日～2017年3月17日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週はレアルは対米ドルで上昇しましたが、対円では小幅に下落しました。債券利回り水準は横ばい推移でした。

国内要因では、政府が進める年金改革に対するデモがブラジル各地で発生しました。テメル大統領は、改革の先延ばしは将来一層の厳しい歳出削減を必要とするとし、政策の支持を訴えました。経済面では4つの国内空港の経営権の入札が行われ、海外企業が落札しました。また労働統計では2015年3月来初めて労働者数が増加しました。

海外では、米国で0.25%ポイントの利上げが行われました。市場では既に利上げは織り込まれており、利上げペースの加速が警戒されていました。しかし声明文からは積極的な利上げを示唆する記述がなかったため、利上げ後は反動の動きが強まり、米ドルは下落基調となりました。

### 【2】今週の見通し

今週は、経済指標面では財政関連指標と経常収支関連指標が発表されます。ただ、市場の関心は経済指標よりは財政再建への取り組みに対する進捗状況に向かいやすいでしょう。不透明な経済環境が続く中で、国民に負担を強いる政策には反発が生じやすい上に、大手石油会社をめぐる汚職捜査の進展により国会が空転するリスクもあるなど、法案成立にはある程度の障害は避けられないとみています。それでもテメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、中央銀行の金融緩和姿勢は一層積極化することが予想され、債券利回りの低下が期待されるほか、海外投資家の信認改善が続くと予想され、ブラジルへの投資活発化を通じてレアルが下支えされると思われます。

### 【3】主要経済指標

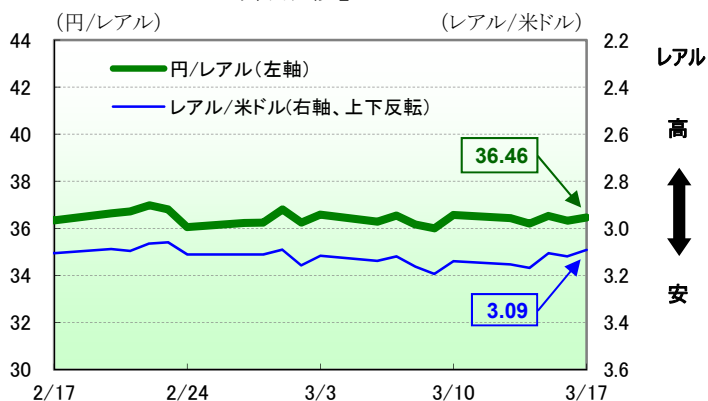
発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/10	毎月	2017年2月	インフレ率(前月比)	0.33%	0.38%
3/10	毎月	2017年2月	インフレ率(前年同月比)	4.76%	5.35%
3/17	毎月	2017年2月	登録雇用創出合計	35,612	-40,864
3/21	毎月	2017年2月	税収(億レアル)	--	1,373.92
3/24	毎月	2017年2月	経常収支(百万米ドル)	--	-5,085
3/24	毎月	2017年2月	海外直接投資(百万米ドル)	--	11,528

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
  - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
  - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
  - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年2月17日～2017年3月17日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年2月17日～2017年3月17日)

